

Cente Technical Information

発行番号	001-0073	Rev	第1版	発行日	2024/04/12
題名	リンクアップ直後にリンクダウンが発生すると、その後リンクアップしても通信できなくなることがまれにある				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">・ Cente TCP/IPv4 Ver. 1.41およびそれ以前・ Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver. 2.30およびそれ以前・ Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver. 2.30およびそれ以前・ Cente IPv6 Ver. 1.51およびそれ以前・ Cente IPv6 SNMPv2 Ver. 2.30およびそれ以前・ Cente IPv6 SNMPv3 Ver. 2.30およびそれ以前				
関連資料	なし				

【該当するユーザ環境】
Cente TCP/IPv4およびCente IPv6で、リンクアップ処理(elap_start())の呼び出しとリンクダウン処理(elap_stop())の呼び出しを別タスクから実行する環境が該当します。
ネットワークインタフェースにCente USB Host RNDIS、Cente USB Host CDC-ECMをお使いの場合はこれに該当します。
elap_start()とelap_stop()を同一タスクから実行する環境(CenteパッケージのBSPのLANドライバはこれにあたります)は非該当です。

【詳細】
Centeミドルウェアは、ネットワークのリンクアップ時にはelap_start()を、リンクダウン時にはelap_stop()を、デバイスドライバから実行するという仕様です。これらを別タスクから実行する構成の場合、リンクアップ直後にリンクダウンが発生すると、elap_start()実行中にelap_stop()が割り込む可能性があります。
elap_start()で内部変数のセット待ち処理があり、この待ち処理中にelap_stop()が割り込むと、セットされた変数がクリアされ(その後セットされることはない)、セット待ちが解除されずに、elap_start()からリターンしなくなることがあります。その後リンクダウン・アップが発生しても状態は復旧せず、通信ができなくなります。
elap_start()とelap_stop()を同一タスクから実行する環境では、elap_start()処理中にelap_stop()が割り込むことはないので、問題ありません。

【回避方法】
elap_start()の実行中にelap_stop()が割り込まれても問題なく処理できるよう、ソースコードの改変が必要です。
修正箇所については、support_XXXatmarkXXX_cente.jpまでお問い合わせください(_XXXatmarkXXX_は@にしてください)。

以上。